

令和3年度(2021年度)第2回三者懇談会(吹田市立岸部保育園)

- 1 開催日時 令和3年11月27日(土) 午後5時5分～午後6時10分
- 2 開催場所 岸部保育園 遊戯室
- 3 出席者 岸部保育園父母の会副会長、その他保護者9名
社会福祉法人あおば福祉会(常任理事、箕面保育園園長、みのおっこ保育園分園長)
吹田市児童部職員(児童部次長、保育幼稚園室長、子育て政策室参事、保育幼稚園室参事、子育て政策室主査、岸部保育園長、岸部保育園長代理、岸部保育園保育教諭)
(Zoomで参加した保護者6名)
- 4 議題
 - 1 社会福祉法人あおば福祉会の保育の紹介
 - 2 引継ぎ状況について
 - 3 質疑応答
- 5 議事要旨

1 開会

吹田市： ただいまから第2回三者懇談会を開会いたします。

開会に当たりまして、児童部次長から御挨拶申し上げます。

児童部次長： 岸部保育園の第2回三者懇談会の開会に当たり、一言御挨拶を申し上げます。

保護者の皆様には、昨年度から新型コロナウイルス感染症拡大防止に様々な御協力をいただき、誠にありがとうございます。この場を借りて御礼申し上げます。また、あおば福祉会には、前回に引き続いて三者懇談会に御出席いただき、お礼申し上げます。

前回は7月17日に三者懇談会を開催させていただきました。以後吹田市とあおば福祉会とで保育の引継ぎを進めさせていただいているところです。本日は、あおば福祉会の保育の紹介や、これまでの引継ぎ状況について保護者の皆様と情報共有させていただきたいと思っております。保護者の皆様が持っておられる疑問点や、御要望などについて、細かなことでも結構ですので出していただき、三者で共有したいと思っております。なお、本日はZoomで御参加いただいている方も御発言いただけますので、よろしくお願いいたします。

本市といたしましても、円滑な引継ぎが行えるように努めてまいりますので、保護者の皆さま、あおば福祉会の皆さま、御協力、御理解をよろしくお願いいたします。

簡単ではございますが、私からの挨拶とさせていただきます。

吹田市： 次に資料の確認をさせていただきます。

(資料の確認)

2 出席者紹介

吹田市： 出席者の御紹介をさせていただきます。

(出席者紹介)

3 社会福祉法人あおば福祉会の保育の紹介

(パワーポイントを使用して説明)

吹田市： 前回の第1回三者懇談会において、社会福祉法人あおば福祉会より、法人の活動実績や理念等を御紹介いただきました。今回の三者懇談会においては、保育園で実践されている保育内容について御紹介いただきます。お願いいたします。

あおば福祉会： 本日は、保護者の皆様に、法人の保育を知っていただきたいと思ひまして、写真を準備させていただきました。箕面保育園の1年を御紹介させていただきます。

箕面保育園と岸部保育園の保育目標を載せています。保育目標は同じでうれしく思いました。大切にすることや、保育が同じということで、これから丁寧に引き継いでいきたいなと思っております。

子どもたちの1年は、岸部保育園と同じく、日本の文化や四季を感じられる保育を大切に過ごしております。

4月は進級・入園式を保護者の方と一緒にまいります。新しい友達を御紹介し、み

んなで喜び合う1日を過ごします。春は散歩にもたくさん出かけます。花や虫を見つけたり、自然との触れ合いを楽しみます。大きくなった喜びを感じて、いい表情の子どもたちがたくさん写っております。

春の遠足は、万博記念公園や山登りなどに行ったりします。年齢ごとに場所を決めて行きます。岸部保育園でも万博記念公園に行かれるということを聞いているので、一緒だなと思っています

子どもの日の集いは、鯉のぼり制作を紹介し合ったりして、子どもたちが元気に大きく育ってうれしいと感じられるような1日を過ごしております。子どもの日の集いには、給食の先生が鯉のぼり寿司を作ってくれます。食育を通しての伝承文化を伝えています。

春から夏にかけては、いろいろな感触遊びを楽しんでいます。子どもたちの世界が遊びの中でも広がっていきます。触ってみようと手を伸ばしてみる姿が、気持ち動いた瞬間で嬉しいなと思って見えています。

夏は園庭を泥んこにして、泥遊びもいっぱい楽しんでいます。ダイナミックに遊べるようになり、泥んこの顔を見合って笑顔が溢れます。岸部保育園には、泥んこ祭りがあるということをお聞きしていますので、楽しみにしています。

七夕の集いでは、地域の方に笹をもらい、みんなで笹飾りを作って願い事をしています。岸部保育園でも、笹をいただいていると聞いています。地域とのつながりは、本当に子どもたちにとって大事だと思っておりますので、継承していきたいと思っています。

プールや泥遊びもたくさん楽しめます。子どもたちは大好きです。やってみようと、遊びで積み重ねた自信がどんどん繋がっていくということを感じています。

保護者の方と一緒に納涼祭も開催しています。お神輿をかついで地域を回ったり、子ども、保護者、地域、職員とみんなで楽しめる取り組みにしています。

5歳児はお泊り保育に行きます。自然体験ができる場所に行き、川遊びやあまごつかみ、カレーづくりや夜の探検などを楽しみます。自分たちでつくる1日を過ごします。岸部保育園の取組内容も見学させていただいて、大切にしている活動を引き継いでいければいいなと思っております。

9月はお世話になっている祖父母の方を保育園に御招待し、敬老の集いを開催します。昔遊びを楽しんだりして祖父母の方と触れ合う1日を過ごします。

秋の遠足では、歩く力もついてきた子どもたちは、少し遠い場所に出かけます。バス遠足にも出かけます。法人バスもありますが、使用については保護者の方と検

討したいと思います。

今年は、岸部保育園の運動会を見学させていただきました。箕面保育園でも、5歳児が竹馬、なわとび、跳び箱をしています。写真はエイサーですが、文化的な踊りを楽しんでいるところも同じだと思っています。4歳児の竹のぼり、3歳児の鉄棒、1・2歳児の肋木遊びなど楽しんでいる運動遊びの内容も同じだと思っています。岸部保育園では、保護者の方と一緒に運動会を楽しむ時間があるということもお聞きしています。箕面保育園でも保護者競技はとても盛り上がります。一緒に楽しい時間を作り出していきたいなと思っています。

給食の先生が各クラスの取り組みを、がんばろうランチ（運動会のご飯）にしてくれます。子どもたちが持って帰れるように、プレートも作ってくれます。子どもたちはこのプレートを手に明日も頑張るぞと、運動会の気持ちを膨らませています。

リズム参観もあります。リズムの内容は、岸部保育園の先生方と保育の交流をする中で、同じだということを確認しています。

地域の方の好意で、お芋掘りもさせていただいております。お米づくりは大きなバケツで稲を育てました。収穫したお芋で何をつくろうと、子どもたちと考えて、クッキングしていただきます。

12月はお餅つき大会を楽しみます。地域の方もお手伝いに来てくださり、お餅の丸め方などもとても上手なので、御指導していただきます。

クリスマス会では、地域の方がサンタさんになってくださいます。5歳児がキャンドルサービスをして、クリスマスの雰囲気を楽しみます。

絵画展では、保護者の方と一緒に子どもの表現を見て、喜び合える時間を過ごしております。岸部保育園ではどのクラスにも絵を飾ってあり、子どもたちの表現や感じたことを日常の中で大切にしているのだなと、見学をさせていただいても感じています。私たちも同じように子どもたちの絵を大切にしています。

節分には、鬼が来て怖くて泣く子もいるんですけども、5歳児さんが年長児として鬼をやっつけてくれます。みんなを守ろうねと立ち向かっていく姿はさすがに年長さんだなということを感じます。鬼が嫌がるイワシも焼いて、まるまる1匹食べる経験もしています。

生活発表会では絵本の世界で遊びます。友達と一緒に登場人物になりきって、その中で表現する楽しさをいっぱい味わいます。

ここでも、給食の先生が、絵本から抜き出したお楽しみランチをつくってくれま

す。楽しみが膨らんでいます。

卒園式です。保育園でつけた力を土台に、小学校への期待を胸いっぱい膨らませて卒園していく子どもたちの表情は、とても誇らしげだなと思っています。

保護者の方に保育を知ってもらう機会として、保育参観や保育参加も行っています。

毎月の誕生日会はみんなでお祝いをします。大きくなり、みんなに見てもらいたいことを決めて、子どもたちが披露します。

給食室からは、誕生日会メニューに旗を立ててお祝いします。大事に旗のプレゼントを持って帰る姿があります。

給食に使う食材は見える場所に展示をし、明日を楽しみにできるようにしています。安心安全な食材、旬の食材を使い、子どもたちの身体づくりに繋がるような給食づくりをしています。食材の皮むきなど手伝いは、乳児さんから楽しんでいきます。食べる意欲にも繋がっております。年齢ごとに様々な道具を使っています。実際につくっておいしいと感じられるクッキングは子どもたちの大切な活動です。

子どもたちと保護者の方々とともに、笑顔溢れる毎日を過ごせるように努めていきたいと思えます。

今日見ていただいたように、保育をする中で大切にしたいことは算面保育園も岸部保育園も一緒だということを確認しております。今後も岸部保育園の皆さんと交流をして、丁寧に引き継ぎをしていきたいと思えます。

4 引継ぎ状況について

吹田市： 前回の三者懇談会から本日まで、あおば福祉会と岸部保育園との間で、相互に運動会や保育を見学するとともに、あおば福祉会には岸部保育園に来園いただき、保育内容などについての引継ぎを進めてまいりました。その引継ぎ状況等について概要を報告します。

吹田市： 参考資料 1 をご覧ください。これまで引継ぎを実施してきました実施日、項目を記載しています。

9月16日、10月18日、11月15日に、2園会議として、岸部保育園の職員とあおば福祉会の職員とで、岸部保育園の保育の状況を項目ごとに確認をしていく会議です。

また、2園交流として、互いの園を相互に訪問して、実施している保育内容を確

認しました。2園会議での内容を現場で確認することや、園児との関わりなど、細部の相互理解を深めることができるということでこのように進めております。

次に引継項目ですが、参考資料3の岸部保育園の現状と引継ぎの状況という資料をご覧ください。

現在、項目ごとに引継ぎを進めており、確認できたところを一部抜粋という形で記載しています。

参考資料3で優先的に進めていますのが、先ほど、あおば福祉会から箕面保育園の取り組みをご紹介いただいた保育内容の部分です。散歩、どろんこ、プール、リズム遊び、描画、絵本との関わり、土曜保育など、保育の根幹の部分ですので、ここから優先的に引継ぎを進めています。

参考資料2にあります、前回の三者懇談会の前に、保護者の皆さんに実施しましたアンケートでも、保育内容、保育環境、保護者との関わりという部分に関心のある事項として挙がっていましたので、その辺りを早くから進めています。

参考資料3では、運営、連携、行事の部分としていますが、保護者との連携では連絡帳、クラスだよりなどを、行事では、遠足、運動会、一泊保育なども確認を進めています。

今後、子育て支援、給食、食育、行事、安全対策、避難訓練などの事項についても、引継ぎを進めていきます。

保育内容については、各歳児ごとの保育のねらいの部分など、基本的な部分で共通するところが多いこと、保育手法としても近いという印象を、岸部保育園の職員もあおば福祉会の職員も、同様の感想を持っています。そのため、今の岸部保育園の保育の基本的な部分をしっかり継続していってもらえると思います。

これからの引き継ぎの中で、あおば福祉会が、より力を入れて取り組まれているところや、これまで公立園として実施しているものと、手法の違いが出てくることもあると思いますが、こういう部分について、岸部保育園で実施する際には、あおば福祉会から今後、御提案をいただく部分も出てくると思います。

現在、新型コロナウイルス感染症対策が求められています。岸部保育園でも、この感染症対策を取り入れながら保育を実施していますので、岸部保育園で新たな保育方法を検討する場合がありますので、その内容も合わせて引継ぎをしていきます。

今後の予定ですが、今年度は、2園会議や2園交流によって引継ぎを進めていき、来年度は合同保育を実施します。

引継項目として、職員体制、保育環境、建物・備品の状況、安全対策、行事の体制、保健、健康診断、衛生管理、アレルギー、諸経費の設定、地域子育て支援などの項目が残っておりますので、引継ぎを進めていきたいと思っています。

吹田市： 続きまして、この間の 2 園交流など引継ぎで見学した内容や感じたことを、岸部保育園とあおば福祉会のそれぞれから御報告します。

吹田市： （岸部保育園保育士）先日、岸部保育園から箕面保育園へ、3 日間にわたって計 6 名の職員が見学に行かせていただきました。保育の見学をさせてもらう中で感じたことを報告いたします。

乳児クラスでは、0 歳児クラスから自分から動きたくなるような設計が組み立ていたりとか、身近な生活の再現遊びができるようなことが設定されていたり、大好きなお母さんに作ってもらった人形を大事にされていたりなど、岸部保育園と同じように大切にしていることを感じました。子供たちが園庭で遊んでいる姿を見学させてもらいましたが、笑顔でのびのびと遊ぶ姿が印象的でした。

幼児クラスでは、リズムに積極的に取り組まれていて、大人も子供も一緒になって身体を動かしている姿がとても素敵だなと感じました。その姿に本当に見とれてしまうぐらいだったんですけども、散歩から帰ってきた小さいクラスの子供たちが、釘づけになるように見えて、年長児さんへのあこがれの気持ちを自然と感じているんだなということを見て感じました。

全てのクラスにおいて、秋の季節を感じるような取り組みをすごく大事にされていました。行事を経験した思いを制作や絵画で表現されている中で、先ほど箕面保育園の取り組みの中でお話しされましたが、絵の中にお話がいっぱい込められているのがすごく素敵だなと感じました。その制作や絵画が、保育園のいろんなところに飾られてあって、他にも草花や生き物を園内でたくさん感じられることで子供たちが本当に安心して過ごしていて、園全体で子供たちの成長を感じられるような環境づくりに取り組まれていることは、共感する部分が大きいなと思いました。

この岸部保育園で、生活や遊びにおいて大事にしていることも本当に同じで、重なるところが多く、私自身もすごくうれしくなりました。保護者の方にも安心していただけるだろうなと感じました。

今後も引き続き 2 園交流をさせていただきたいと思っています。また、その時

の様子を保護者の方々にもお伝えできたらいいなと思っています。

あおば福祉会：先日、岸部保育園の運動会を見学させていただきました。

幼児クラスでは、先ほどあおば福祉会の箕面保育園の映像でも御紹介させていただいたように、竹馬、のぼり棒、縄跳びなど同じような取り組みをしていますので、親近感を覚えまして、大事にしているところも一緒だなと感じました。

乳児クラスでは、あおば福祉会の、みのおっこ保育園（0、1、2歳児の乳児の子どもたちを保育している保育園）では、今年度1歳児の途中入園の子どもが多く、運動会の取り組みの時にお母さんが見えたら泣いてしまう子どもがたくさんいました。でも、岸部保育園の1歳児の子どもたちは、近い距離でお母さんが見えていても、泣いたりしませんでした。遊びが充実している、楽しいんだなと感じましたし、先生方のことが大好きというのが、見ていても伝わってきました。乳児は子どもたちと先生方との信頼関係が一番の土台になっていて、本当に大事されているんだなということを感じ、学びにもなりました

またこれからも2園交流に行かせていただき、学ばせていただきたいと思います。

5 質疑応答

吹田市： それでは、御意見や御質問、御要望があればお受けいたします。

本日はZoomで御参加されている方もいらっしゃいますが、まず初めに、この場にいらっしゃる方から御発言があればお受けします。

保護者： 非常に教育方針が似ていて、あまり大きな変化、変更がないというのは子供も安心します。

今回、民営化することによって、今までできなかった独自の保育サービスや、柔軟な対応ができるようになると思います。参考資料では変更なしばかりですが、新たに取り入れるものとか、新しい学習だったり、外部からの指導者を呼んでみるとか、そういった方針や予定があれば教えてください。

あおば福祉会： まず何よりも、民営化するときに大きな変化があると、一番子どもたちに影響するのではないかなと思います。

法人独自でも、先ほど見ていただいた映像でもありましたが、描画を大切にしたり、身体づくりのリズム運動とか、運動会の体育活動なども積極的に行っております。前回の三者懇談会でもお話ししましたが、自然の中で遊ぶことが子どもたちの体力や心の豊かさを生むのではないかなと思います。法人のバスもありますので、それを利用して、より豊かな園外活動の充実等を図りたいとは思っているのですが、そこについては保護者の方と合意していかないと、新たに法人が、これをやりたい、あれをやりたい、こんなことをやりますということだけでは、子どもたちが置き去りになっていくのではないかなと思います。子どもたちが豊かに育つためには、私たち法人と、保護者の皆さんと、こういう議論を重ねていきたいなと思います。

逆に保護者の皆さんから、あおば福祉会として取り組んでいることを説明させていただいたり、イメージを見ていただく中で、こんなことはできないんですかという御要望を出していただくことで、そのことに実際に取り組んでいけて、子どもたちの喜びになったり育ちに繋がったりということになれば一番いいと思っています。

まずは、私たちは岸部保育園の現状からスタートをしていきたいなと思います。そういう意味で今日の資料から大きな変化はないんだということが伝われば、私たちも安心ですし、子どもたちも安心すると思います。

子どもたちが安心するということは、保護者の皆さんも、これまで通りこの保育園を利用していけるのではないかなと思います。保護者会等で協議いただき、こんなことをやってほしいですということがあれば、御意見をいただけたらありがたいと思います。中にはできないことも出てくるかなと思いますが、その辺りは話し合いをさせていただきたいと思います。

保護者： 保育内容を見せていただいて、岸部保育園からあまり大きく変わらない似た雰囲気だと思いました。

今、こぶた組（3歳児）の子は、ぞう組（5歳児）の時に民営化になるのですが、民営化になって変わってしまったなという思いもしなくてすむのかなと、安心して見ることができました。

大きな変更はないということで本当に安心できるなと思っているんですけど、実際に民営化された後に、資料では分からないようなところで、小さなずれとかが生じてくることや、その積み重ねが心配だなということがあります。本当にささや

かなことだけれども、この辺でちょっと不満に思っているけれど、どう伝えたらいいのかとか、どの辺まで聞いてもらえるのかということがあると思います。ちょっとした疑問や意見を具体的にどのように吸い上げていかれるのかというのを、今までの民営化の経験から、どういうふうにしてこられたのか、これからどうしていいとか、考えがあるならば教えてください。

あおば福祉会： 前回もお話ししましたが、一番不安なのは保護者の皆さんではないかなと思います。

子どもたちは結構柔軟に、新しい先生を受け入れていく力があるんですけど、保護者の方には、今回のコロナ禍の中で保育園の先生とどのように関係を作ればいいのか分からないという状況がありますが、この民営化も同じではないかなと思います。

新しいことが一気に訪れるので、その中で言いたいことや、思っていることを述べていただくというのは、まだ関係ができない中では難しいとは思いますが。お忙しい方は御意見箱とかに入れていただくこともできます。関係ができてくれば、直接聞いていただいたら、お答えもしていきます。これまでの連絡帳での、やりとりでさせてもらっても結構です。メールの開設等もいたしますので、そういったいろいろなところで気軽に、こういうことはどうですかと聞いていただければいいと思います。

この三者懇談会も、民営化後も継続されていきます。1人の意見では言いづらくけれども、保護者会の意見として言っていただくということも可能だと思います。いろんな角度から、お声を聞かせていただくということ、話し合いを重ねていくということが大事なんだと思います。話し合いをせずに、勝手に物事が決まってしまうのはよくないと思いますので、小さな不安や悩み、思いを聞かせていただき、それが子どもの保育、子どもの生活につながっていくようにしたいなと思っています。一言いうのもときどきするし、こんなことを言って大丈夫なのかなと、いろいろ思われると思うんですけど、ぜひ言っていただけたらいいなと思います。

今、岸部保育園の先生方とも日々悩みを出し合って、子育て、保育をされていると思いますので、そういう点も、しっかりと引き継がせていただきたいと思っています。

こんな方法でやったらもっと相談しやすいねとか、こんなことを導入してくださいということがあれば、前向きに検討させていただきたいと思っています。

保護者： 去年から、コロナの影響で、保護者同士の関わりもすごく減って、名前もあんまり分からない状況があったり、セキュリティの関係で、来年から保護者は名札を着けていこうと思っているんですけども、あおば福祉会では保護者の名札はどういうふうにされてるのか教えてください。

あおば福祉会： 名札は、保護者会で保護者用の名札を配付されていますので、基本的には送迎の時に着けていただくということになっています。

職員も職員用名札というのを着けているんですけど、保育中には子どもたちへの影響があって外すこともあるので、その点では名札をうまく生かしているかどうかと思います。

保護者の方に職員の名前が分かるように、クラスごとに職員紹介の写真を貼り出したり、全職員の一覧を貼り出す取り組みをしていますけれども、なかなか名前と顔が一致しないということは起きることだと思うんです。相談しようと思っても、誰だったかなというようなこともあると思いますので、できる限りいろんな箇所に掲示をさせていただき、関係づくりをしたいと思います。

令和5年4月の民営化ですので、職員の写真とか体制の掲示は、もう少し後になりますが、体制が整い次第、こういう職員が保育に当たりますということを御提示したいと思います。

保護者： さきほど言っていたように、多分子供たちは民営化することは分かっていないと思います。本当にときどきしているのは、民営化後も通うことになる保護者の方たちだと思います。私自身も本当にどんな先生たちが来るのかなと思います。

今、岸部保育園では子供たちの相談だったり、ちょっとしたことを日々聞いてもらったりしていて、先生たちの存在というのがすごく大きいです。

合同保育に来られる先生は、もう決まっておられますか。素敵な先生をお待ちしております。

あおば福祉会： 私の口から素敵と言っていいのかわかりませんが、候補者としてはもうほぼ確定しています。

4月からは、この先生方に行っていただくということで、理事会等では議論をしています。園長予定者、副園長予定者も、1月以降の各クラスに入る先生方についても、ある程度選定は終わっております。

乳児、幼児など豊富な保育経験のある先生に、岸部保育園で保育の担任についてほしいなと思っております。

いろんなバランスを考えて、これから更なる採用や、岸部保育園で非常勤で働いている先生方の正規雇用とか、そういうことも考えていきたいなと思っていましたので、吹田市にも力を借りていきたいなというふうに思っています。

保護者： 前回、父母の会でアンケート取ったところ、回収できていなかったアンケートがありましたので、御紹介だけさせていただきます。

前回の失敗を詳細まで吹田市と共有し、類似の失敗が発生しないよう予防してください。民営化した4園の上手くいったところと反省点があったところをヒアリングしてスムーズに移管できるように予防してください。

保育の質を確保できるかという心配に対して、基準の話ではなく、保育士さんのトレーニングをどうしているか教えてください。経験の少ない保育士さんが、大量投入されて、今より質が下がるのを心配しています。という内容です。

あおば福祉会： 吹田市では、これまで4園の民営化をされてきたということを知っています。その中の良い部分、課題というところは、お聞きしておいたほうがいいと思っています。できる限り良い部分で対応していきたいとは思いますが、受けられた法人と、その保育園でいろいろ議論した結果、こうなりましたということだと思います。岸部保育園ですぐに採用されるかどうかはわかりませんが、保護者の皆さんから、うちでもこうしてほしいというような内容がありましたら、前向きに検討したいというふうに思っています。

保育の質というのは、非常に漠然とした言葉だと思います。何をもちて質と呼ぶのかということですが、保育環境も質ですし、人的環境も質ですし、そういう意味でこちらにどんな先生が来られる予定かという話をさせていただきました。

一定の保育経験があるというのは値打ちにはなってくると思いますけれど、年数を重ねたから保育の質を保障できるというのは、単純に計れないです。これまで経験を積んできて、実践もされて、保護者と良好な関係を結んでこられた先生に、ぜひこちらへお願いしたいと思います。

若い先生だから駄目と一概には言えません。2年目、3年目の先生でも、すごく熱心な先生がおられるので、それはすごくいい部分でもあると私たちは捉えさせてもらっています。ただ、若い人ばかりでは難しいと思いますので、年齢のバラ

スを考えて選考していきます。

吹田市： 吹田市ではこれまで民営化で 4 園移管していますが、岸部保育園では、これからさせていただくこととなりますが、今の岸部保育園の保育の状況をしっかりお伝えしていきます。

その中で、現在実施していることや、引き継いでいただきたいことについて、手法として異なる部分も出てくると思いますが、しっかりと保護者の皆様とも共有をさせていただきながら進めることが大事と考えています。

現在、新型コロナウイルス感染症対策をする必要があり、新たな Zoom 会議などの方法もありますので、こういったツールの活用もして、コミュニケーションをしっかりと取りながら進めていきたいと思います。

吹田市： 次に、本日 Zoom で視聴されている方から御意見や御質問、御要望があれば、お受けします。

保護者： 先ほど保育の質のお話しをしていただいたのですが、経験年数だけで計れないところはあるのかなと思うんですが、レアなケースだと思うんですけども、最近、ニュースとかでもいろいろ取り上げられることもあって、質のことは保護者としてすごく大事な点かと思っています。

表面化しにくいといいますか、見えにくい、計りにくいところだと思うのですが、前回の会議では職員が 200 名ほどいらっしゃるというふうに聞いて少しびっくりしたんですけども、質を担保されるために教育であるとか、配置であるとか、気を付けておられることなど、法人の方が尽力されていることがあれば聞かせてください。

あおば福祉会： 保育の質を担保するというのは、その言葉だけでは分かりにくいことと思います。そういった上で、一つは、職員研修というのを実施しています。今年は法人研修としまして、子どもの人権、権利について研修をしました。今、虐待などで様々に報道されています。また、本当に悲しい出来事ですけれども、子どもの事故などがあります。

そういう中で施設点検をさせていただいておりますので、自分たちが保育者として、子どもの権利保障していく上で、子どもへの関わり方、小さい子どもではな

くて一人の人として関わっていくということが大切になってきます。そのために研修をたくさん実施しています。

研修をすればそれが何も起きないのか、よりよい保育に繋がるのかというのはありますが、管理職面談や主任面談など、法人としてヒアリング等を行っております。また行事等についても確認しています。

今回、箕面保育園で福祉サービス第三者評価を受審しまして、第三者評価とは自己評価でもありますが、客観的な目を入れ、子どもたちが日々安心して過ごしているのか、職員の関わり方はどうなのか、施設面の安全基準はどうなのかという、いろんな観点から見ていただいています。

民営化して3年目の時に一度受審しました。今回、8年目で2回目です。定期的に受けていくことが、職員の学びや気付きになっていきますし、先日も第三者評価に私も立ち会わせていただいたのですが、1回目の受審のときに上がった課題は改善されていて、調査者の方も喜んでおられました。そのような喜びを分かち合っている関係も非常に大切だと思います。

職員の質を上げるためには、保護者の方の働きかけも重要なのではないかなと思います。先生、どうですかと言っていただき、少し不適切だなと思うような事案というのはすぐに改善していくことが大切だと思っていますので、私たちや管理職は職員の関わり方を日々見ていますけれど、保護者の方も、朝夕の送迎の時などに見られると思います。そういった細やかな関係作りこそ、この岸部保育園の質を向上させていくと思います。

保護者： 保育士さんはすごく専門性の高い仕事だなと思っていましたので、しっかり教育のこととかも考えておられていることを聞いて安心しました。

保護者と園との関わりについてなんですけれども、公立保育園では保護者会があって、割と行事に積極的に参加するというスタンスです。民営化した後は私たち保護者と話し合いの上、決めていくことと思っているのですが、既存の民営化された保育園では保護者会がどの程度、保育園に参加しているのかということと、そこでの経験など、お話をお聞かせください。

あおば福祉会： あおば福祉会は民営化園を3園受託しております。そのうちの瀬川保育園と箕面保育園については、直接私が関わって運営してきました。

まず、2007年に瀬川保育園が民営化されました後、3年間、三者懇談会を实

施し、継続して話し合いの場を持ってきました。

その後が不安になってくるのかなと思いますけれども、その後も二者懇という形で、保育園と保護者会と毎月 1 回、定期的にやらせてくださいとこちらから申し入れをさせていただきました。

日々の悩みとか思い、個人の思いなどもなかなか直接伝えにくいこともありますので、保護者会にまとめていただいて協議をします。新しい、こんな豊かな保育をしてほしいとか、こんなことはできませんかという御提案をいただきながら、こういう形だったら実施できるかなと、新たに保育をつくり出し、行事を変えていくことは多々ありました。

また、箕面保育園でも同じような形です。三者懇はたぶん 2 年で終わりました。保護会の方が自分たちで主体的にやらせてくださいということで、二者懇に移行したという経過があります。より早い形で移行されました。

箕面保育園では、公立保育園ではパジャマは着ないということがありました。今は着ています。寝るときは寝るつもりになるとか、衛生的な環境を保つということで、パジャマの導入はどうですかという話は最初にしたんですけども、お金がかかるでしょうという否定的なお声がありました。でもその後、保護者の方から、先生、導入してもらえないかな、ということがありました。年月が経つと保護者の方の考えも変わるのかなと思います。

ですから、今はしなくても、いずれするようになることは起こり得るのではないかなと思います。しかし、法人だけがやりたいからやるということではなくて、きちっと話し合いをして、合意が得られなければ、それはそのままにします。

もし合意が得られるのであれば、新たなことに挑戦していくというようになると思います。だから三者懇談会で話し合いをしていくということには意味があると思っています。

吹田市：他に質問はありませんか。

なければ、終了時間も過ぎておりますので、これまでとしたいと思います。

最後にあおば福祉会から何かございますか。

あおば福祉会：本日はお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。また Zoom でも御参加いただけたというのは非常に良かったと思っております。

何よりも、子どもたちにとってという視点で、このように協議をさせていただけ

るというのが一番ありがたいと思っています。大人たちが、しっかりと手をつながない限りは子どもたちが安心して過ごせないのではないかと思うので、このように三者懇談会の場で、これからも丁寧に話させていただいて、不安に感じておられる保護者の皆さんに少しでも安心していただけるように、法人として努めていきたいと思います。

映像で見ていただいた保育目標のところは、本当に一緒なんだなと思いました。健康のこと、豊かな表現を大切にすること、人を大切にする心、友達を思う心が大事です。また、何よりも、子どもたちが意欲的に過ごせることと、同じように保育目標が掲げられているというところに確信を持って、令和5年4月に向けて、一步一步、丁寧に皆さんとともに進めさせていただきたいと思います。

引き続きどうぞよろしく申し上げます。本日はありがとうございました。

6 閉会

吹田市： 次回の開催につきましては、合同保育前の令和4年3月頃に、合同保育に来ていただく予定の職員の紹介や、引継ぎ状況についての報告をさせていただきたいと考えています。あおば福祉会と保護者代表である父母の会会長と調整させていただき、報告させていただきます。

それでは、本日の三者懇談会を終了させていただきます。